



平成 27 年 2 月

平成 27 年度当初予算の概要

	ページ
1 平成 27 年度当初予算の概要	1
2 平成 27 年度当初予算総括表	7
3 平成 26 年度 2 月補正予算総括表	8

神奈川県川崎競馬組合

1 平成 27 年度当初予算の概要

～川崎競馬のさらなる発展と組合経営の安定化を目指すとともに、
構成団体への繰出しを組合設立以来初めて実施～

I 予算編成の基本的な考え方

- 累積赤字解消後、初の予算編成となる平成 27 年度当初予算においては、川崎競馬のさらなる発展を目指して、現在策定中の「川崎競馬経営計画（案）」に基づく施策に着実に取り組む。
- 併せて、将来にわたり競馬組合の安定的な経営を図るため、設備等整備基金の積増しや経営安定化基金の創設を行うとともに、構成団体である神奈川県及び川崎市に対し、組合設立以来初めて配分金の繰出しを行う。

II 予算のポイント

- 売上及び入場者数の拡大に向けて、魅力ある競馬を開催するための新たな仕組みの導入や広報・ファンサービスの充実、川崎競馬場の場内環境の改善を推進する。
- 経営の効率化と安定化に向けて、開催業務の一部の民間委託化を進めるとともに、地方競馬全国協会からの補助金の増額確保を図る。また、設備等整備基金を積み増すとともに、経営安定化基金を創設する。
- 地域社会との連携・協調の推進に向けて、ファミリー層向けのイベントを充実するとともに、構成団体や県内市町村、地元企業等の協賛レースを拡大し、広報等における連携を図る。また、構成団体への配分金の繰出しを行う。

III 予算規模

(単位：億円、%)

区 分	平成 27 年度 当初予算額 A	平成 26 年度			対前年度比較		
		当初予算額 B	2月補正 予算額C	2月現計 予算額 D(B+C)	A/B	A/D	
予算総額	513	488	31	519	105.2	98.9	
売上 勝馬 金(投 規票 模券)	川崎競馬 開催	480	460	20	480	104.3	100.0
	地方競馬受託 場外発売	130	108	24	133	120.6	98.3
	JRA 受託発売	179	147	29	177	121.7	101.1

(注) 億円未満切捨てのため、合計は符合しない。

IV 競馬開催等の状況

1 実施方針

- 川崎競馬開催
 - ・ 正月開催を実施する。(平成 18 年度以降、10 年連続)
 - ・ 原則として、月曜日から金曜日までの 5 日間開催とし、売上が最も見込める水曜日に重賞競走を実施する。
 - ・ 全 14 回の開催を行う。(年度を跨る開催を含む。)
- 地方競馬受託場外発売
 - ・ 南関東他 3 場(大井、船橋、浦和)の全日程を場外発売する。
 - ・ 併せて、南関東他 3 場以外の競馬場の一部レースもできる限り場外発売する。
- J R A 受託発売
 - ・ J R A の全日程を受託発売する。

2 開催日数等

区 分		平成 27 年度	平成 26 年度
川崎競馬 開催	開催回数	14 回 (11 回)	14 回 (11 回)
	開催日数	63 日 (49 日)	63 日 (49 日)
地方競馬受託場外発売		201 日 (105 日)	206 日 (80 日)
地方競馬 計		264 日 (154 日)	269 日 (129 日)
J R A 受託発売		108 日 (—)	107 日 (—)
合 計		372 日 (154 日)	376 日 (129 日)

(注) () はナイト開催分を内数で示す。

V 平成 27 年度当初予算の重点的な取組み

1 売上及び入場者数の拡大に向けた取組み

(1) 魅力ある競馬の開催

- 川崎競馬の魅力向上に向けた新たな仕組みの導入 6,018 万円
ファンの興味をひく魅力ある競馬を開催するため、強い馬づくりや川崎競馬場所
属騎手の技術向上、重賞競走の盛り上げ等に向けて、新たな仕組みを導入する。
- ⑨ ・ 川崎在きゅう馬能力向上対策事業費
川崎在きゅう馬の能力向上を図り、スター馬を養成するとともに、重賞競走等
を盛り上げるため、重賞競走等で活躍した川崎在きゅう馬の馬主等に特別報奨金
を支給する。
- ⑨ ・ 川崎在きゅう馬確保対策事業費
強い馬づくりを推進するため、他地区から川崎に転きゅうした J R A 認定馬の
馬主に神奈川県馬主協会が奨励金を支給する事業に対し助成する。
また、川崎在きゅう馬の確保・充実のため、川崎在きゅう馬として一定期間以
上活躍した退きゅう馬の馬主に神奈川県馬主協会が報奨金を支給する事業に対
し助成する。

⑧ ・ 古馬ダートグレード出走促進対策事業費
川崎記念、エンプレス杯及びスパーキングレディーカップの売上拡大及び川崎在きゅう馬の出走の促進を図るため、同競走に、過去の重賞競走で実績のある馬など、優先出走馬等が出走した場合に手当を支給する。

⑧ ・ 川崎競馬場所属騎手技術向上対策事業費
川崎競馬場所属騎手の騎乗機会を拡大し、技術の向上を図ることにより活躍を促すため、川崎所属騎手に騎乗依頼した川崎在きゅう馬の馬主・調教師に奨励金を支給する。

○ 競走番組の充実

ファンの興味をひく魅力ある競走番組を編成するため、短距離競走（900m）を全開催で実施するとともに、長距離競走（2000m・2100m）の競走数を増やし、競走距離を多様化する。また、牝馬限定競走も全開催で実施する。

(2) 広報・ファンサービスの充実

○ 積極的な広報の展開 広報宣伝費 3億 1,505万円（対前年度比 7,112万円増）
川崎競馬の売上及び入場者数の拡大を図るとともに、W I N S 川崎の認知度を向上させるため、様々な媒体を積極的に活用し広報を展開する。

〈⑧ 新規事業〉

- ・京急川崎駅構内柱巻広告
- ・テレビ及びラジオによる広報
- ・本場での懸垂幕掲出
- ・W I N S 川崎新聞広告
- ・外国人向けパンフレット（英語・中国語・韓国語）の作成
- ・新商業施設（平成 28 年春開業予定）との連携による情報発信
- ・騎手やイメージキャラクターによるCM（ドリームビジョン等で放映） など

〈充実強化事業〉

- ・重賞競走ポスター（従来のダートグレード競走に加え全重賞競走で作成）
- ・J R 及び京急車内中吊り広告（掲出場所を見直し、すべて中吊りで実施）
- ・スポーツ新聞への馬柱掲載（重賞実施日等のレース数増）
- ・近隣住民への開催告知ダイレクトメール（回数・枚数の増）
- ・新聞休刊日告知を活用した広報（回数増） など

○ 魅力あるファンサービスの実施

ファンサービス費 1億 591万円（対前年度比 662万円増）

川崎競馬本場及びW I N S 川崎の入場者数の拡大と売上の増進を図るため、魅力あるファンサービスを実施する。

〈**新**新規事業〉

- ・女性及び女性同伴者のみ利用可能な女性エリアの設置
- ・初心者競馬教室の実施
- ・新商業施設からの集客対策（来場者への景品贈呈等）
- ・騎手パネルの作成
- ・WINS川崎でのファミリー層向けイベント
- ・場内案内マニュアルの作成、接遇研修の実施 など

〈充実強化事業〉

- ・馬関連イベント（ポニー乗馬・ミニチュアホース・ばん馬・流鏝馬、**新**木曾馬など）の充実（実施回数増）
- ・スピードくじの充実（プレゼント品の単価・数量増）
- ・カツマルくんポイントカードの充実（場外もポイント対象化、景品の充実）
- ・場内清掃の充実（定期的に特別清掃を実施） など

(3) 川崎競馬場の場内環境の改善

- スタンド等のリニューアル 競馬場施設借上料 17億 8,755万円
施設会社と連携し、来場者にとって居心地の良い場内環境の整備を推進するため、新商業施設からの集客や将来におけるJBC競走の開催なども視野に入れたスタンドの改修工事等を行う。
 - ・2号スタンド1階のリニューアル、4階特別観覧席の座席の更新及びボックス席の設置
 - ・場内案内表示のリニューアル（統一感のあるサイン、外国語表記の付記）
 - ・パドック廻りのリニューアル など
- オッズ表示モニターの増設 324万円
老朽化したオッズプリンターサービスを廃止し、オッズ表示モニターを増設する。
- 老朽化した設備の更新 4億 4,405万円
老朽化している設備等を計画的に更新する。
（特別観覧席券発券システム、入場門コインゲート、自動発払機 など）

(4) 経営計画の推進

- 新**○ 経営計画推進事業費 300万円
経営計画に基づく取組みを着実に進めるため、施策化に向けた調査等を行う。
（キャッシュレス投票の導入に向けた調査、職員等の資質向上に向けた研修など）

2 経営の効率化・安定化に向けた取組み

(1) 民間活力の活用促進

さらなる経営の効率化に向けて、統制業務と検体採取業務の一部を委託化する。

(2) 地方競馬全国協会補助金（WINS広報分）の増額確保

（歳入）2,000万円

広い駐車場や芝生広場など、川崎競馬場の特長を周知し、WINS川崎の売上拡大を図るため、地方競馬全国協会補助金（WINS広報分）を増額確保する。

(3) 将来に備える基金の造成

○ 設備等整備基金の積増し

6億5,000万円（26年度2月補正 5億5,000万円、27年度当初 1億円）

今後実施する必要がある大型映像装置（ドリームビジョン、パドックシアター）の更新等に備えるため、設備等整備基金を積み増す。

- ① ○ 経営安定化基金の創設 7億円（26年度2月補正 6億円、27年度当初 1億円）
将来にわたり競馬組合の経営の安定化を図るため、経営安定化基金を創設する。

3 公正な競馬の着実な実施に向けた取組み

(1) 競馬開催における安全と公正の確保

禁止薬物陽性馬の発生防止対策を徹底するとともに、認定きゅう舎（外きゅう）の立入検査など、公正確保対策を強化する。

(2) 畜産の振興

県畜産会の畜産普及啓発事業等に対し助成するとともに、同会と連携し畜産関連イベントでの広報等を実施する。

4 地域社会との連携・協調の推進に向けた取組み

(1) 地域社会から愛され、親しまれる川崎競馬場づくりの推進

ファミリー層向けのイベントの充実や、新商業施設との連携を図るとともに、構成団体や県内市町村、地元企業等の協賛レースを拡大し、広報等の連携を進める。

(2) 災害対策の強化

340万円

大規模地震等の発生に伴う、地域住民の一時避難対策及び来場者の帰宅困難対策のため、毛布・食糧等の備蓄物資を増強する。

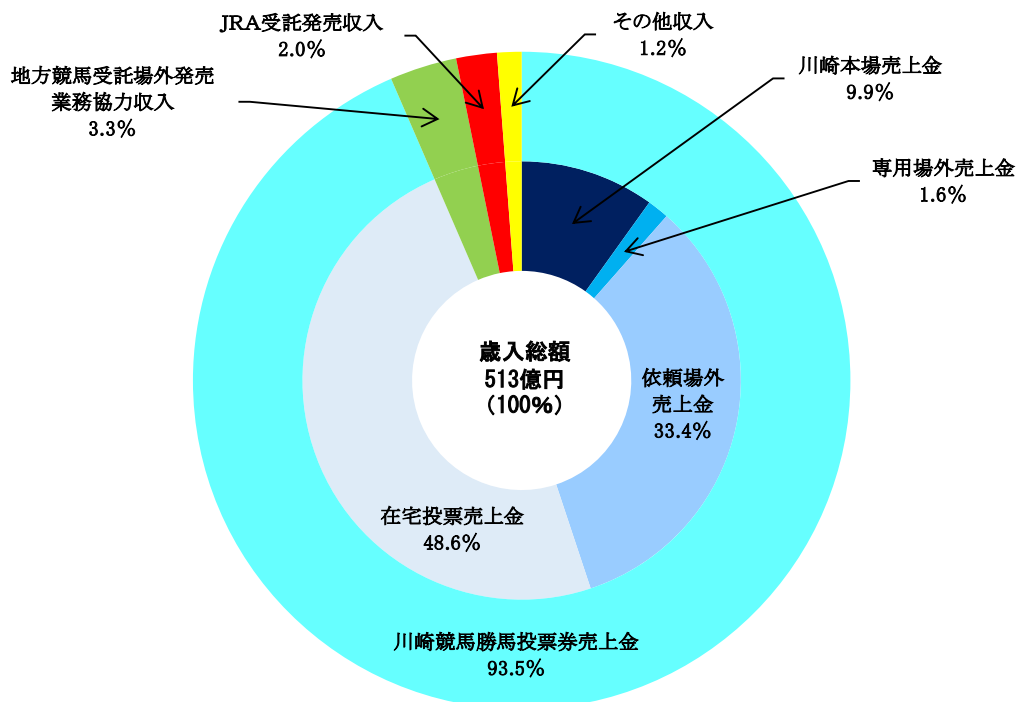
① (3) 構成団体への配分金の繰出し

9,000万円（神奈川県 6,000万円、川崎市 3,000万円）

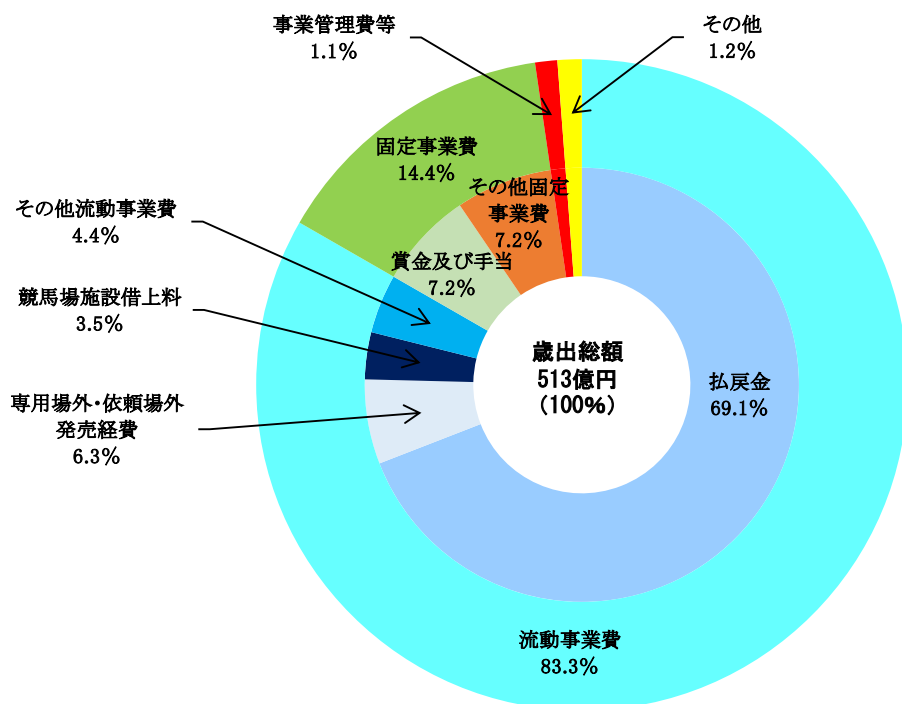
競馬組合設立以来初めて、構成団体への配分金の繰出しを行う。

(参考) 平成27年度当初予算 歳入・歳出の内訳

【歳入】



【歳出】



2 平成27年度当初予算総括表

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A - B	A/B
川崎競馬勝馬投票券売上金	48,000,000	<100.0> 93.5	46,000,000	<100.0> 94.3	2,000,000	104.3
川崎本場売上金	5,107,000	<10.6> 9.9	5,776,000	<12.5> 11.8	△669,000	88.4
専用場外売上金	795,000	<1.7> 1.6	811,000	<1.8> 1.7	△16,000	98.0
依頼場外売上金	17,130,000	<35.7> 33.4	17,980,000	<39.1> 36.9	△850,000	95.3
在宅投票売上金	24,968,000	<52.0> 48.6	21,433,000	<46.6> 43.9	3,535,000	116.5
地方競馬受託場外発売 業務協力収入	(13,077,500) 1,700,000	3.3	(10,841,600) 1,471,000	3.0	(2,235,900) 229,000	(120.6) 115.6
J R A受託発売収入	(17,935,000) 1,050,544	2.0	(14,740,000) 867,157	1.8	(3,195,000) 183,387	(121.7) 121.1
その他収入	591,456	1.2	461,843	0.9	129,613	128.1
計	51,342,000	100.0	48,800,000	100.0	2,542,000	105.2

(注1) < >内は川崎競馬勝馬投票券売上金の構成比を示す。(注2) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A - B	A/B
流動事業費	42,789,028	83.3	40,540,905	83.1	2,248,123	105.5
払戻金	35,487,000	69.1	33,902,000	69.5	1,585,000	104.7
地方競馬全国協会交付金	661,500	1.3	634,250	1.3	27,250	104.3
専用場外発売費	515,832	1.0	510,978	1.0	4,854	100.9
依頼場外業務協力費	2,726,777	5.3	2,806,489	5.8	△79,712	97.2
競馬場施設借上料	1,787,558	3.5	1,544,400	3.2	243,158	115.7
その他の流動事業費	1,610,361	3.1	1,142,788	2.3	467,573	140.9
固定事業費	7,401,268	14.4	7,337,857	15.0	63,411	100.9
競馬場施設管理費	454,386	0.9	479,504	1.0	△25,118	94.8
賞金及び手当	3,679,988	7.2	3,664,308	7.5	15,680	100.4
地方公共団体金融機構 納付金	50,000	0.1	50,000	0.1	0	100.0
地方競馬受託場外発売 運営費	205,384	0.4	208,809	0.4	△3,425	98.4
J R A受託発売費	339,077	0.6	301,137	0.6	37,940	112.6
その他の固定事業費	2,672,433	5.2	2,634,099	5.4	38,334	101.5
事業管理費等	561,384	1.1	571,142	1.2	△9,758	98.3
設備等整備基金積立金	100,170	0.2	50,096	0.1	50,074	200.0
経営安定化基金積立金	100,150	0.2	-	-	100,150	皆増
構成団体繰出金	90,000	0.2	-	-	90,000	皆増
予備費	300,000	0.6	300,000	0.6	0	100.0
計	51,342,000	100.0	48,800,000	100.0	2,542,000	105.2

3 平成26年度2月補正予算総括表

【歳入】

区 分	当初予算額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
川崎競馬勝馬投票券売上金	46,000,000	2,000,000	48,000,000
川崎本場売上金	5,776,000	△416,000	5,360,000
専用場外売上金	811,000	3,000	814,000
依頼場外売上金	17,980,000	△280,000	17,700,000
在宅投票売上金	21,433,000	2,693,000	24,126,000
地方競馬受託場外発売 業務協力収入	(10,841,600) 1,471,000	(2,458,600) 284,000	(13,300,200) 1,755,000
J R A受託発売収入	(14,740,000) 867,157	(2,994,104) 169,870	(17,734,104) 1,037,027
前年度からの繰越金	-	625,632	625,632
その他収入	461,843	20,885	482,728
計	48,800,000	3,100,387	51,900,387

(注) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	当初予算額A	2月補正予算額	2月現計予算額A+B
流動事業費	40,540,905	2,178,356	42,719,261
払戻金	33,902,000	1,643,000	35,545,000
地方競馬全国協会交付金	634,250	20,000	654,250
専用場外発売費	510,978	16,000	526,978
依頼場外業務協力費	2,806,489	21,000	2,827,489
競馬場施設借上料	1,544,400	114,356	1,658,756
その他の流動事業費	1,142,788	364,000	1,506,788
固定事業費	7,337,857	△179,434	7,158,423
競馬場施設管理費	479,504	△15,487	464,017
賞金及び手当	3,664,308	△61,068	3,603,240
地方公共団体金融機構 納付金	50,000	△34,955	15,045
地方競馬受託場外発売 運営費	208,809	△10,499	198,310
J R A受託発売費	301,137	△8,771	292,366
その他の固定事業費	2,634,099	△48,654	2,585,445
事業管理費等	571,142	△48,535	522,607
設備等整備基金積立金	50,096	550,000	600,096
経営安定化基金積立金	-	600,000	600,000
構成団体繰出金	-	-	-
予備費	300,000	-	300,000
計	48,800,000	3,100,387	51,900,387